

日本財団助成 平成 28 年熊本地震災害支援ボランティア 活動報告

- 1 日時 平成 28 年 6 月 17 日（金） 21：00 出発～
平成 28 年 6 月 19 日（日） 21：00 着
- 2 活動者事前研修会 平成 28 年 6 月 16 日（木） 19：00～20：00
- 3 募集期間 平成 28 年 5 月 27 日（金）～6 月 15 日（水） 17：00 迄
- 4 活動先 熊本県益城町
(1 日目ゴミ集積場 ・2 日目（社会人）民家片付け（学生）避難所傾聴ボランティア活動)
- 5 参加者 13 名（高校生 6 名 社会人 7 名）

6 詳細内容

■活動者事前研修会（6 月 16 日（木） 19：00～老人福祉センター会議室）

参加者全員を対象に行程・活動内容・準備品等について確認を行い、自己紹介等を行いながら皆で支援活動をおこなう意志統一の為実施した。未成年の方は保護者も同伴され、活動内容について真剣に話を聞かれた。実施にあたっての注意事項をおこなった。またボランティア活動保険についての加入手続きを済ませた。（約 1 時間で終了）



6 月 17 日（金） 出発式からの報告

活動内容	写真
21：00 笠岡市老人福祉センターにて出発式を開催し出発。	 

6月18日(土)

朝食を北熊本サービスエリアにて済ませ、手配していた当日の昼食の積み込みをおこなう。益城町災害ボランティアセンターに朝7:30分到着。



避難所支援という事前の情報であったが、ごみ集積所のボランティア活動となる。バスで現地まで移動する。災害で出た自宅内のゴミ(家具・木・布団・畳・金属・ガラス・スレート壁材・ソファ・家電・瓦・コンクリートなど)指定の場所につき、一般家庭から持ってくるものを選別し、積み下ろしの作業を行った。作業は常時人が必要なところなので、グループを4つ作り、さらにグループ内を2分割し、15分ずつの休憩と作業をローテーションで実施した。



休憩所は敷地横プレハブ小屋にて休憩。クーラーボックス内に1.5ℓのお茶・スポーツドリンクを凍らせて保冷剤とする。昼食の弁当を入れる。



集積場では、住民や業者など大勢の方が来られ、特に業者とはトラブルになる(一般住民対象のごみとして処分している)為、屋前からは高校生の女の子に順路指示してもらい、特にトラブルが無く助かったと地元町役場の方から感謝された。



15:00まで活動し、バスの迎えを手配する。その後、ボランティアセンターに帰り、活動報告を実施する。明日の打合せをセンター職員とおこなう。高校生が避難所での活動を希望されており、打合せを行う。

16:00 宿泊所到着。明朝7:00発とし、各々自由時間とする。

6月19日(日)

7:00 宿泊所出発。宿泊所の好意で朝食弁当準備して下さる。途中コンビニに寄って必要なものを買い足しする。

8:00 益城町災害ボランティアセンター到着。団体受付を行う。避難所支援ではなく民家の片付けであったが、センターと再度相談し高校生6名は避難所の傾聴に回ることとなる。他7名は民家の片付けに回る。避難所は乗ってきたバスで移動。民家はトラック及びキャラバンで移動する。10:00過ぎから民家の片付けを行う。避難所は男女分かれて別の避難所に行って傾聴活動を行った。

12:00 まで実施。15分活動10分休憩で実施する。時間の関係で全て片づける事が出来なかったが住民の方では処分できない大型家財等の処分を優先に8割方片づける事が出来た。

(民家の片付け)



12:30 センターにて活動報告を行う。13:00～ボランティアセンターの方から町内の歩いて回れる場所を教えてください 30分ほど市役所周辺を歩いて回った。住民の方からもお話を少し聞く事が出来た。



13:30 笠岡に向けて出発。14:00 昼食 14:50～バスの中で全員から感想を発表する。
21:00 笠岡着